



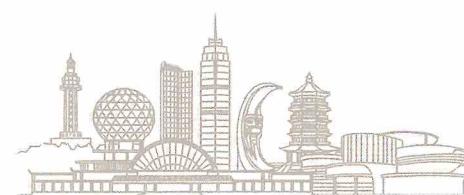
烟台综合保税区招商服务手册

煙台総合保税区企業誘致
サービスマニュアル



烟台综合保税区招商服务手册

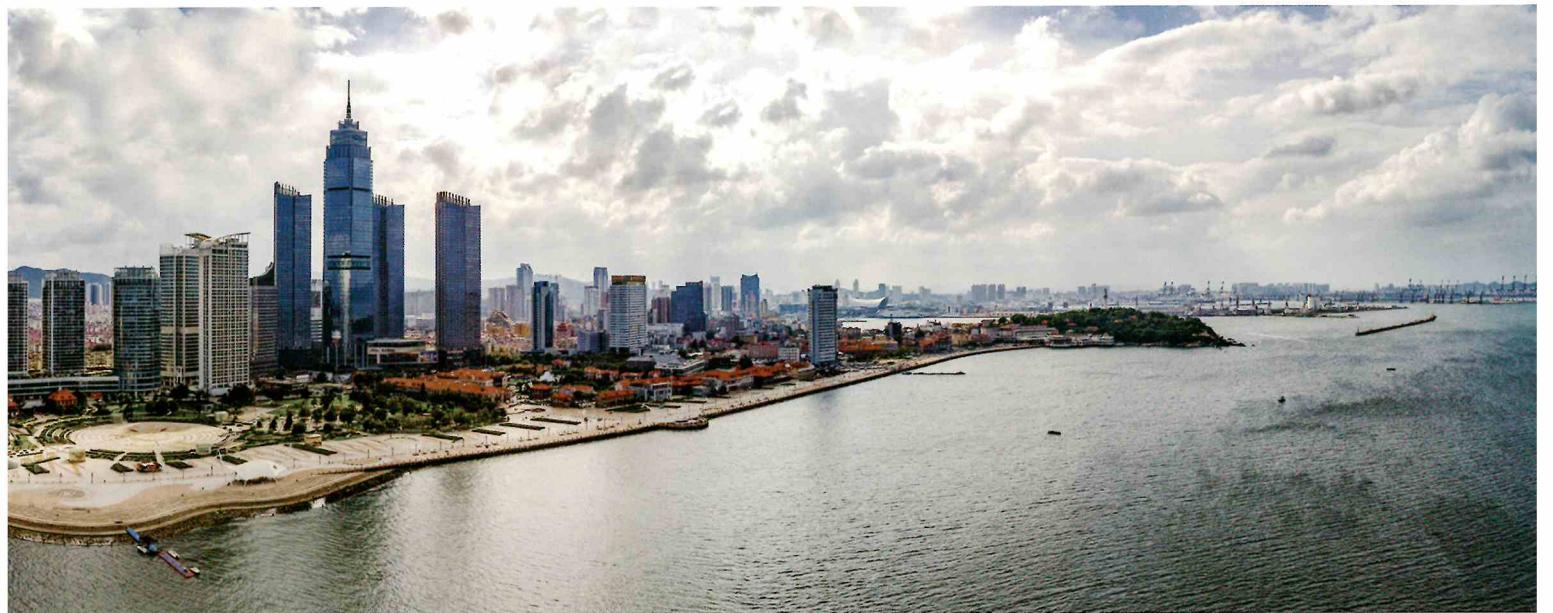
煙台総合保税区企業誘致
サービスマニュアル





烟台综合保税区招商服务手册
煙台総合保税区企業誘致サービスマニュアル





这是一片先行先试的开放高地，这是一方商机无限的投资热土，这是一个活力四射的经济功能区。

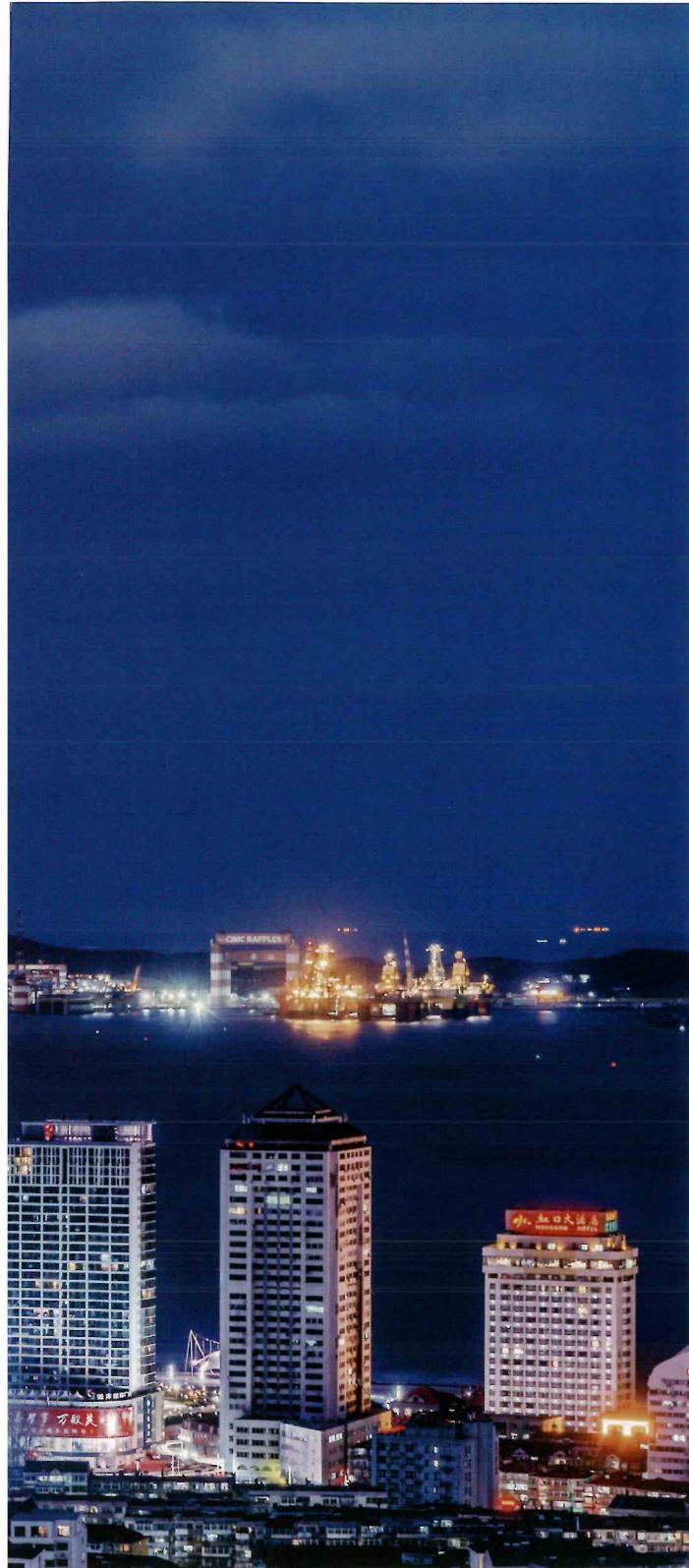
烟台市地处山东半岛东部，濒临黄海、渤海，与日本、韩国隔海相望，位于东北亚经济圈中心地带，为中国首批十四个沿海开放城市之一、国际著名海滨城市、国际葡萄·葡萄酒城、联合国人居奖获奖城市、中国投资环境“金牌城市”、最佳中国魅力城市、山东新旧动能转换三大核心城市之一、中国（山东）自由贸易试验区核心城市、首批碳达峰试点城市，是全国第二十五个GDP过万亿城市。

烟台综合保税区位于烟台芝罘湾畔，外与日韩隔海相望，内与市区紧密相连，年外贸进出口超千亿元，历年全国综合保税区发展绩效评估“A类”。



烟台综合保税区招商服务手册
煙台綜合保稅区企業誘致サービスマニュアル





2009年9月，国务院批准设立烟台保税港区。2020年4月27日，烟台保税港区整合优化为烟台综合保税区，7月22日通过验收，9月24日正式揭牌并开关运作。

作为新旧动能转换综合试验区、山东自贸试验区重要承接平台、跨境电商综合试验区的核心功能区，烟台综合保税区将围绕“一区四中心四产业一平台”发展布局，建设政策集成新高地，扩大外资外贸新优势，打造营商环境新样板，树立融合发展新典范，激发内生发展新动力，抢抓新机遇，践行新理念，不断书写新篇章、创造新未来！

开放的烟台综合保税区欢迎您！



目录

01

地理位置

08

02

发展现状

10



03

发展优势

11

04

服务环境

17

05

未来合作方向

18



地理位置

烟台综合保税区规划控制总面积 6.18 平方公里，其中东区 3.92 平方公里，西区 2.26 平方公里。园区位处“一带一路”重要节点、中欧班列始发点，与日本、韩国隔海相望（距离日本 529 海里，距离韩国 235 海里），是国内对日韩航线最为密集、海运成本最低的海关特殊监管区。东区南距火车站仅 1 公里，北与沈海高速、烟大轮渡紧邻，西邻城市生活区，东与烟台港无缝衔接，货物下船即可入区；西区位于山东自贸试验区烟台片区，毗邻蓬莱国际机场。园区“海陆空铁”互联互通，区位优势得天独厚。



园区规划控制总面积 6.18 平方公里

- 东区 3.92 平方公里
- 西区 2.26 平方公里





发展现状



烟台综合保税区设立以来，充分发挥特定政策特殊功能，切实担负起改革开放新使命，打造烟台乃至山东面向日韩、面向国际的重要开放窗口和平台。园区实现基础设施“七通一平”，6处通关查验平台已经海关批准先后投入使用。

园区依托烟台港和富士康工业园，培育形成以保税物流、保税加工、跨境电商、检测维修为主要业态的发展格局。

全区外贸进出口稳定持续增长，在全国和全省海关特殊监管区域中位居前列。

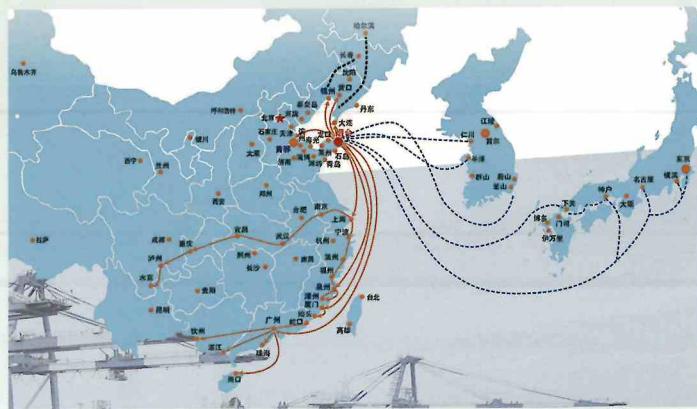
发展优势

物流枢纽优势

烟台综合保税区是集海港、空港、铁路、公路物流形态于一身的园区。



海运：烟台综合保税区与烟台港无缝衔接，是国内对日韩航线最密集、海运成本最低的海关特殊监管区，货物下船 10 分钟内即可入区。开通中韩航线 6 条、每周 12 班，至韩国仁川、平泽“夕发朝至”；中日航线 7 条、每周 7 班；东南亚航线 3 条、每周 2 班；俄罗斯航线 1 条、两周 1 班；中非件杂货班列航线月均 10 班。

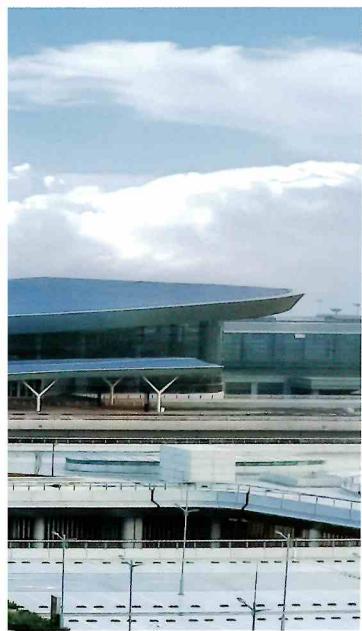




烟台综合保税区招商服务手册
煙台総合保税区企業誘致サービスマニュアル



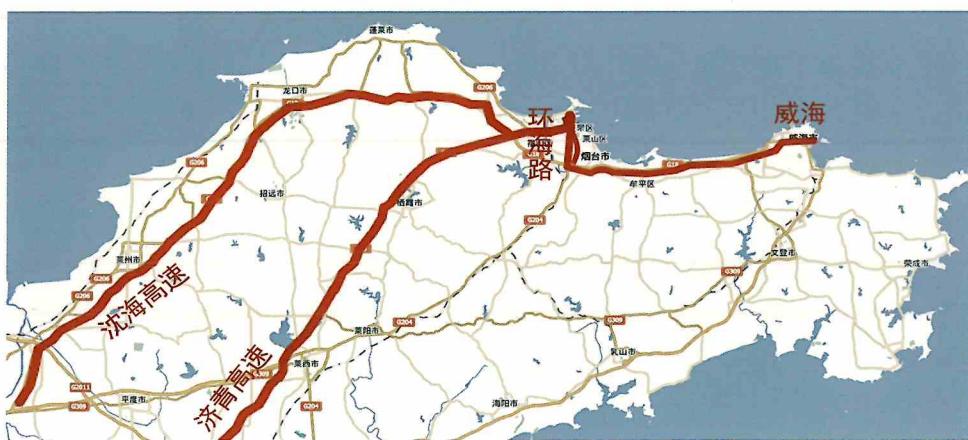
空运: 烟台综合保税区距离蓬莱国际机场 30 分钟车程。烟台空港是国家一类开放口岸，与国内外 70 多个城市直接通航，空中航线数位居全国前列。年旅客吞吐量可达 1000 万人次，货运吞吐量 7.5 万吨。



铁路：烟台综合保税区距离烟台火车站 1 公里，与青岛、威海处于“1 小时工作圈”，潍烟高铁建成后至济南 2 小时、至北京 3 小时。“齐鲁号”欧亚班列集货启运点即位于综合保税区内，先后开行烟台至德国杜伊斯堡、俄罗斯、中亚五国、东南亚、白俄罗斯班列。



公路：烟台综合保税区与烟大汽车轮渡码头相连，经此与中国东北公路网形成交汇。贯穿市区的主干道—环海路穿行区外，东经高速路直达威海，南与济青高速公路、西与沈海高速公路相接深入内地，通达全国。





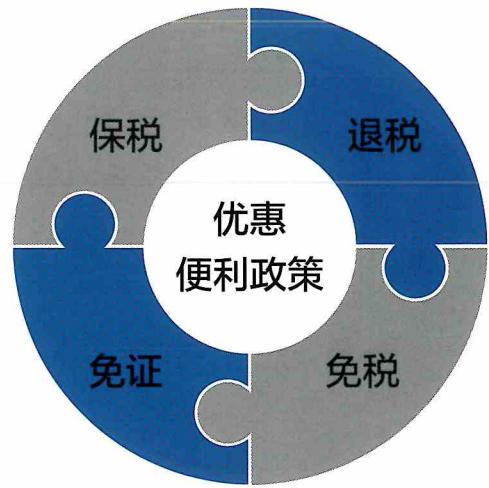
政策优势

海关监管政策

- **保税**: 境外货物入区暂缓缴纳关税、增值税、消费税。
- **退税**: 国内货物进入综合保税区视同出口，实行退税，区内生产用水、电、气等实行退税。
- **免税**: 综合保税区内企业生产的供区内销售或者运往境外的产品，免征相应的增值税和消费税。区内企业间货物交易不征收增值税和消费税。区内进口生产所需机器设备、基建物资及自用合理数量的办公用品免征关税和海关代征税。
- **内销选择性征税**: 区内企业生产、加工，并经“二线”内销的货物，根据企业申请，按其对应进口料件或按实际报验状态征收关税，进口环节增值税、消费税照章征收。
- **免证**: 在综合保税区内不实行进出口配额、许可证管理。区内货物自由流转，存储货物不设期限。
- **通关便捷**: 综合保税区海关监管方式实行备案制，可集中报关、分批进出区，区港间可“一次申报、一次审单、一次查验”，实现真正意义上的“区港一体”，无缝对接。

园区扶持政策

烟台综合保税区与山东自由贸易试验区烟台片区、山东绿色低碳高质量发展示范区等国家宏观战略叠加，在平台建设、大宗贸易、跨境电商、境外市场开拓、产业创新、新兴业态发展、人才引进等方面，市、区两级惠企政策丰富。



功能优势

进口铜精矿混配: 2020年6月海关总署批复。将不同成分的多种铜精矿通过精确混合工艺满足国内进口使用条件，有效降低企业成本，提高国内原材料使用效率。混矿监管仓库面积2.8万平方米，配套库外堆场1万平方米，产能60万吨/年。



混矿监管
仓库面积 **2.8** 万平方米 配套库外
堆场 **1** 万平方米 产能 **60** 万吨

进境肉类、冰鲜水产品和食用水生动物: 2020年10月海关总署批复。拥有2.3万吨冷库库容，3200平方米帝王蟹、雪蟹、板蟹暂养池，可同时容纳150吨进口蟹类产品。



冷库
库容 **2.3** 万吨 帝王蟹、雪蟹、
板蟹暂养池 **3200** 平方米 可同时容纳
进口蟹类产品 **150** 吨



跨境电商进出口：2020年11月获青岛海关批准设立烟台综合保税区跨境电商监管中心，占地8400平方米，是目前山东省内信息化水平最高、位置最优越、海关支持力度最大的海关监管中心，现已开展跨境电商保税进口（1210）、零售出口（9610）和面向日韩的跨关区“9610”退货业务。

进境水果：2022年12月海关总署批复。总占地面积7400平方米，仓库面积2200平方米，仓内冷处理库温度控制在-4℃~0℃、查验场地温度控制在12℃以内，拥有总容量800吨、日吞吐量100吨以上的进口水果处理能力。

进口粮食：2014年10月原国家质检总局批复。烟台港是全国首批也是山东省内三家获得进境粮食指定口岸资质的港口之一，建立了完善的粮食操作体系，可为客户提供码头作业、船舶代理、报关报检、全程物流等“一条龙”服务。



跨境电商监管中心



进境水果指定监管场地





服务环境

烟台综合保税区内驻有海关、市场监管、税务、银行等监管服务单位，管委会下设经贸发展、规划建设、招商、财政、企业服务等职能机构，为区内企业提供国际化优质服务、专业化精准服务、保姆式贴心服务。

(1) 用心服务。建立项目分析会制度，围绕入驻企业提出的各类问题诉求，召集企业、海关、银行、国企平台等服务单位共同商议研讨，为企业用心制定落地解决方案。

(2) 融合服务。驻区海关可实现 24 小时预约报关，税务部门出口退税时间压缩至 8 小时以内，管委“企业服务专员”为入区项目提供“一对一”贴心服务。

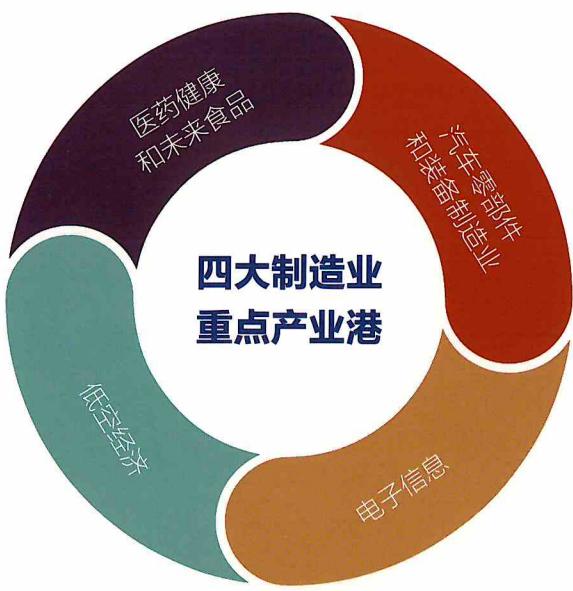
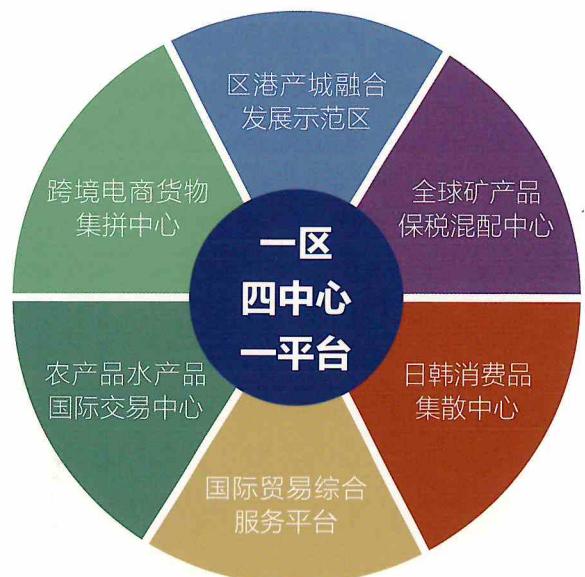
(3) 特色服务。依托国资平台烟台保税开发投资公司，为企业提供保税状态下进口商品融资、国际代采等跨境供应链金融；与烟台银行、东营银行、日照银行等金融机构建立密切合作，可为企业提供年化利率最低 6% 左右的融资业务，助力烟台综合保税区重点产业、新兴产业的升级与迭代。



未来合作方向

烟台综合保税区将坚持区港产城融合发展思路，实现差异化突破，着力打造“一区四中心一平台”，着力打造“四大制造业重点产业港”，努力建成更具竞争力和创新力的现代化、国际化经济功能区。

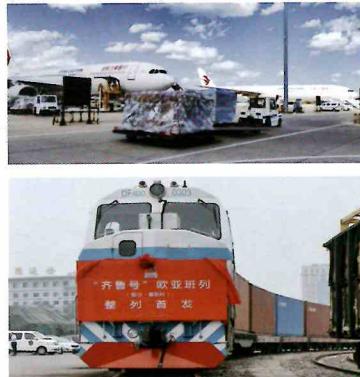






一区四中心一平台

区港产城融合示范区：发挥功能集约优势，促进综合保税区、海港、空港功能有机融合、相互赋能，优化布局、产业互融，积极融入并推动烟台市绿色低碳高质量发展，打造区港产城融合发展试验区。



全球矿产品保税混配中心：依托江铜国兴保税“混铜”业务，推动铜精矿混配公共服务平台落地，配套建设全球矿产品信息中心、交易中心、金融中心，通过保税赋能、严格监管、智慧管理，实现原矿“买全球”、混矿“卖全球”。



日韩消费品集散中心：搭建邮件、快件、跨境电商等多模式通关载体，依托海港、空港布局 10 万平方米中心仓库，搭建中日韩消费品展示交易中心、集散分拨中心，把烟台打造成面向日韩的消费品物流枢纽和集散地，实现“日韩产品烟台进、中国产品烟台出”。



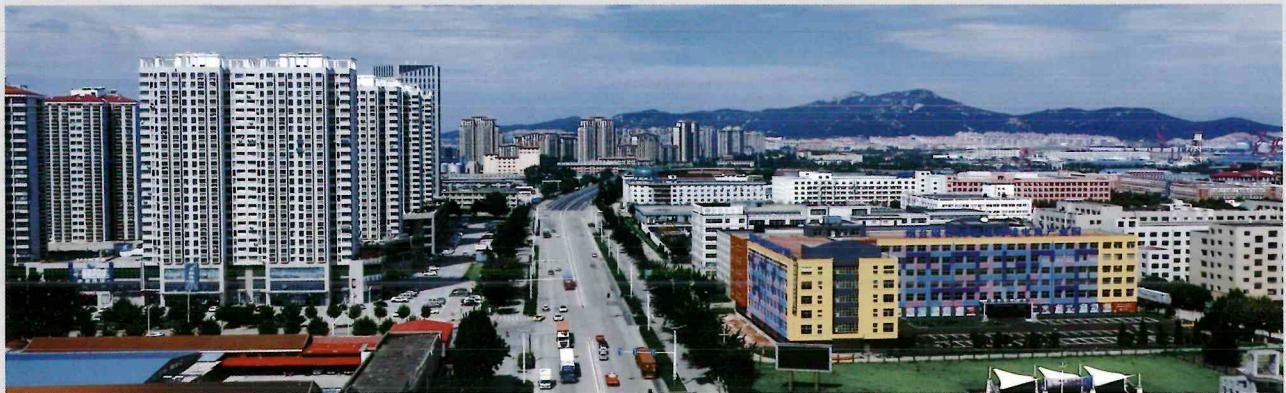
农产品水产品国际交易中心：依托海关总署批复进境肉类、食用水生动物、水果等海关指定监管场地，打造集货物代理、通关服务、保税仓储、保税加工、转口贸易、物流分拨、港口作业、直播电商为一体的进口冷链“一站式”服务产业园；依托烟台自贸片区在全国首创的进口散装葡萄酒保税加工新模式，以 8000 吨级葡萄酒灌储能力联动区内外企业扩大葡萄酒保税加工规模。





跨境电商货物集拼中心：已落地韩国艾多美进口“1210”业务中心仓、中速出口集货仓，依托跨境电商海关监管中心、全省首家跨关区出口退换货试点政策，发挥“海、铁、空、陆”物流全网运营优势，打造全国对日韩功能最完善、时效最快、通关最便捷、物流成本最低的跨境电商服务生态。

国际贸易综合服务平台：依托区内现有楼宇，引进第三方服务机构，搭建“众创孵化空间”和数字化平台，围绕国际贸易、现代物流、科技、人力资源、知识产权、金融、会计审计、法律咨询、质量基础设施等，为企业提供发展载体和数字化支撑，打造产业生态服务体系。



四大制造业重点产业港



医药健康和未来食品：依托烟台市生命医药产业战略性新兴产业集群，充分发挥综合保税区保税研发功能政策优势，支持生物医药领域先进技术、医疗器械、医学美容、药食同源保健食品等保税研发，打造医药健康和未来食品产业港。



汽车零部件和装备制造业：依托“山东港口商品车物流基地港”“中国北方商品车物流枢纽港”及烟台市丰富整车、零部件生产企业优势，拉长拓宽汽车零部件产业链条，促进海上救生装备制造，提升制造、物流、配送等环节整体产业能级。





电子信息：重点发展消费电子、关键电子元器件、精密仪器仪表等产业方向，依托现有产业基础，积极拓展智能手机、电脑、可穿戴设备、智能家电、工业机器人等智能终端、智能机器人相关领域产业集合，为产品出口企业提供政策功能、出海效率及良好发展环境支撑。





低空经济：围绕低空经济战略新兴产业，开展轻型直升机和无人机研发、保养、调试及相关零部件设备的生产；聚焦国外配件需求及海外市场开发，为重型无人机提供研发制造及市场开拓提供各项服务便利。

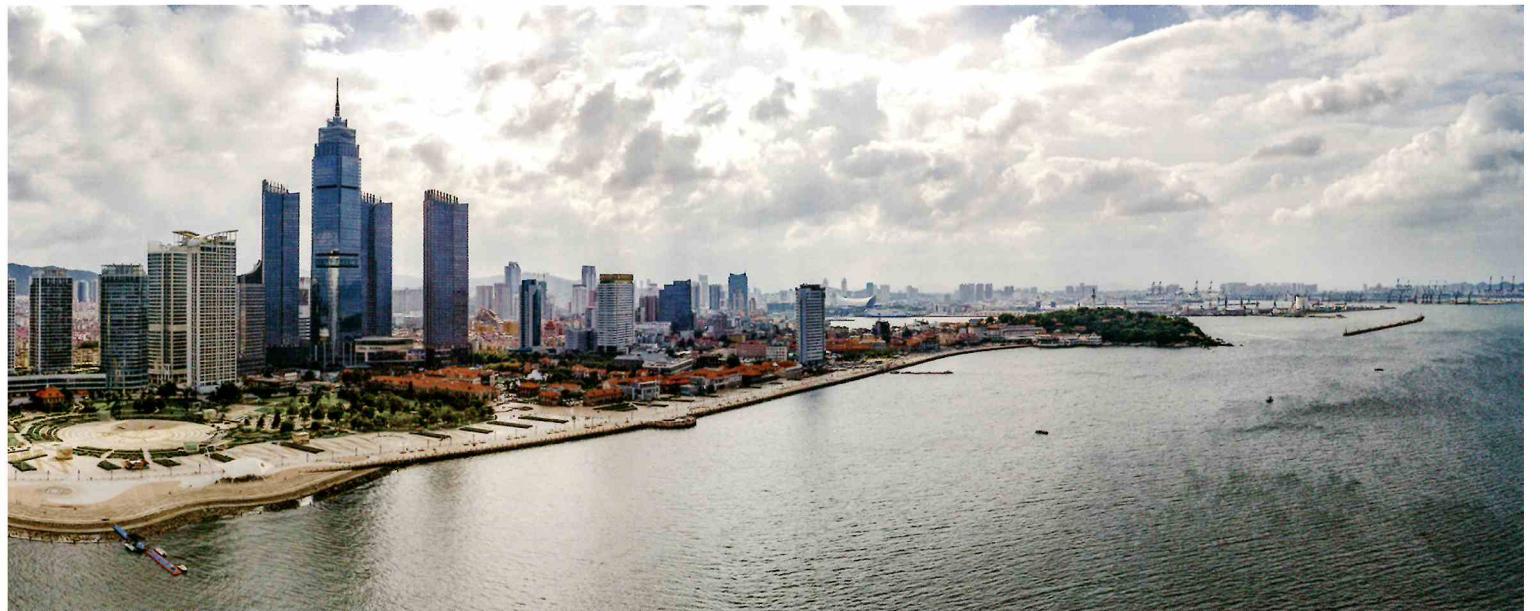




ここは全国に先駆けた開放の「高地」であり、ビジネスチャンスが無限にある投資のホットランドであり、活気あふれる経済機能区である。

煙台市は山東半島の東部に位置し、黄海と渤海に面し、海を隔て日本と韓国と向かい合い、北東アジア経済圏の中心に位置しており、中国初の14の沿海開放都市の一つとして、国際的に有





名な港町、国際ブドウ・ワインタウン、国連ハビタット賞を受賞した都市、中国の投資環境「金メダル都市」、もっとも魅力的な中国の都市であり、山東省の新旧エネルギーの変換の3大中核都市の一つでもあり、中国（山東省）自由貿易試験区の中核都市、最初に指定されたCO2ピークアウトの試験モデル都市であり、全国で25番目にGDP1兆元を超えた都市である。

烟台芝罘湾畔にある烟台総合保税区は、外は海を隔てて日本・韓国と向かい合いに、内は都市部と密着し、年間の貿易輸出入額は千億元を超え、長年にわたり、全国総合保税区発展成果の評価で「クラスA」を獲得。

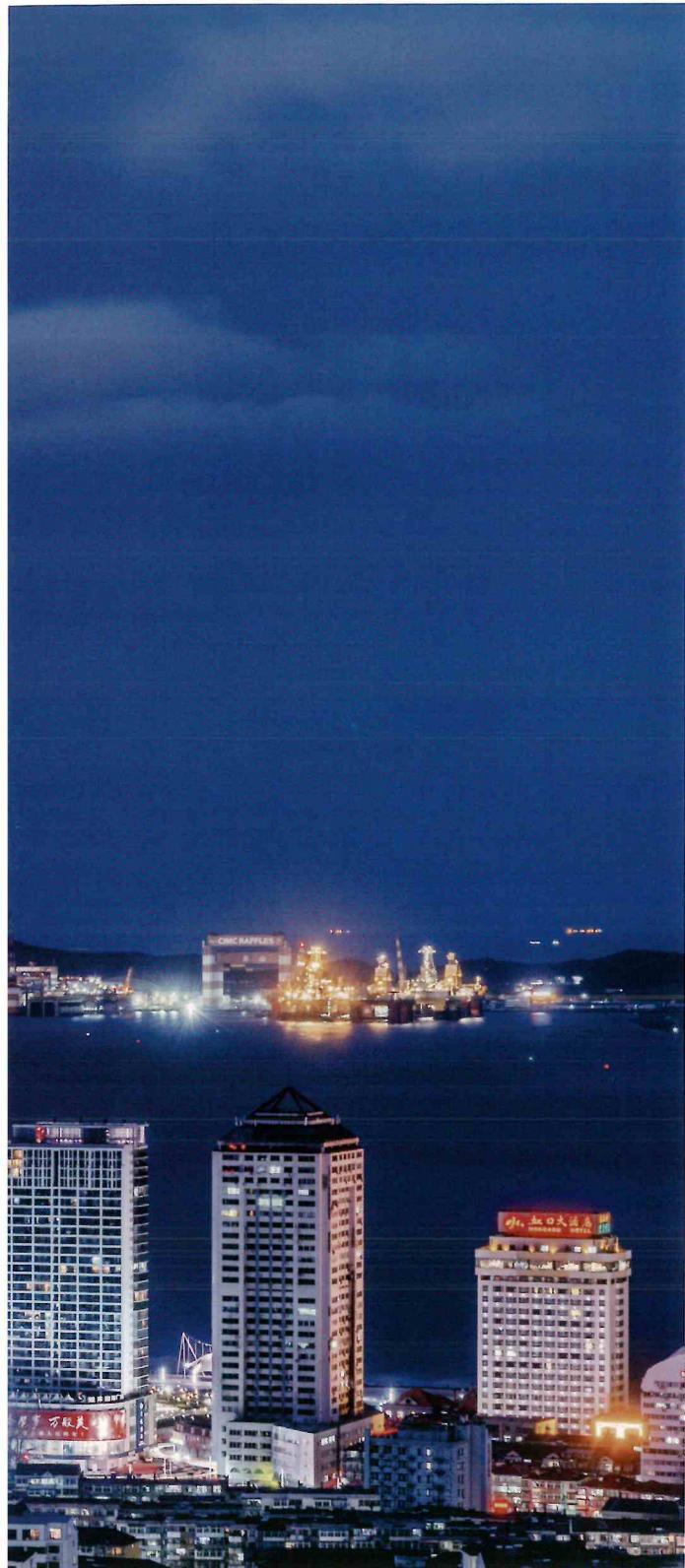


烟台综合保税区招商服务手册

煙台総合保税区企業誘致サービスマニュアル

開放的な煙台総合保税区によこそ！





2009年9月に国務院の許可で煙台保税港区が設立され、2020年4月27日に煙台保税港区は全面的な改造を経て煙台総合保税区にグレードアップし、7月22日に最終検査に合格し、9月24日に本格的にスタート。

烟台総合保税区は、新旧エネルギー転換総合試験区、山東省自由貿易試験区の中核的プラットフォーム、越境電子商取引総合試験区の核心機能区として、「一区・四中心・四産業・一プラットフォーム」の発展方針を土台に、政策統合の「新高地」を築き、対外投資・対外貿易の優位性を拡大し、高度なビジネス環境の新しいモデルを開発し、総合的発展の新パラダイムを確立し、内発的発展の原動力を刺激し、新たなチャンスを掴み、新しい理念を実践し、新たな未来を創造する！



ディレクトリ

01

立地条件

32

02

発展現状

34



03

発展優位性

35

04

サービス環境

41

05

今後の協力の方向性

42

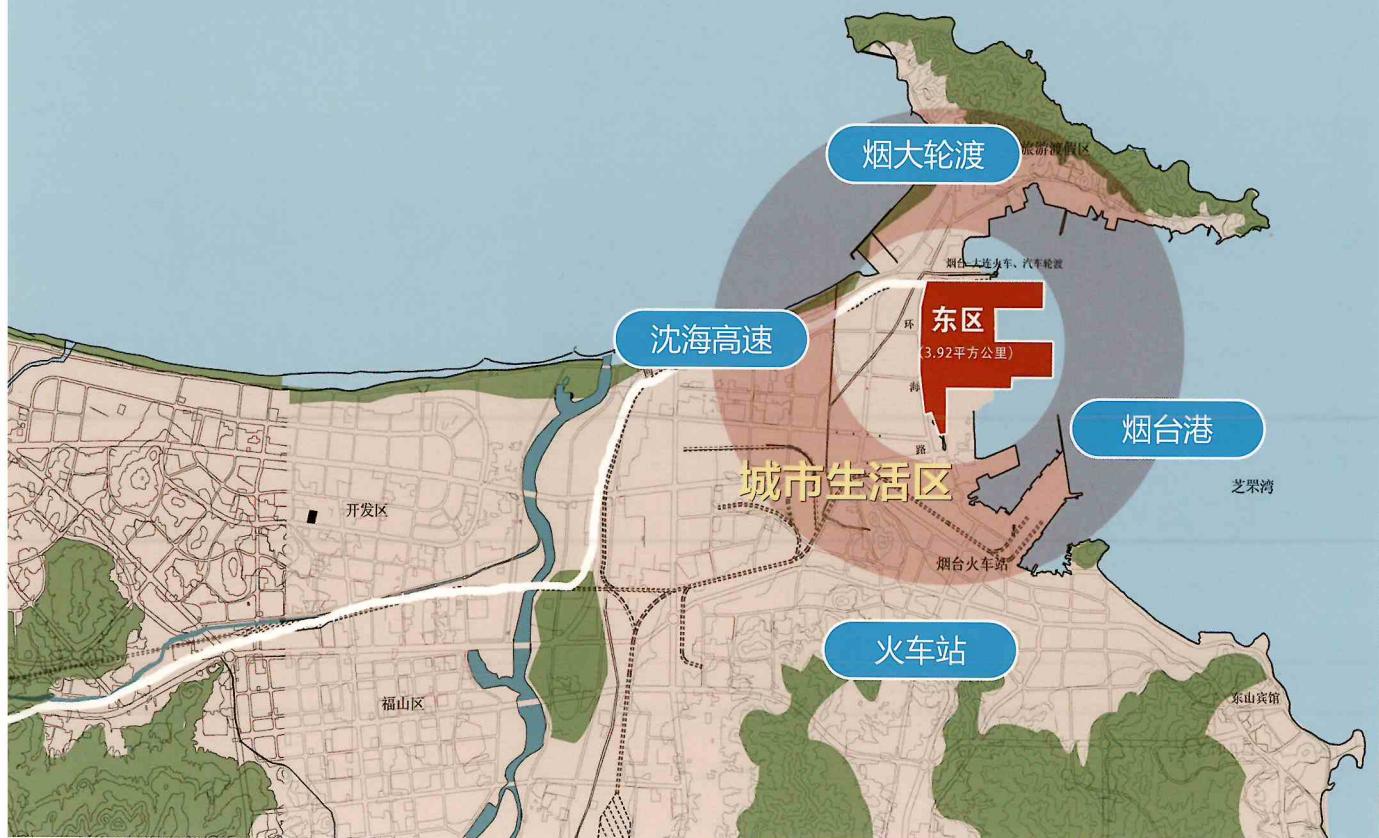


立地条件

煙台総合保税区の計画管理区域は 6.18 平方キロメートルで、そのうち、東区は 3.92 平方キロメートル、西区は 2.26 平方キロメートルである。園区は「一帶一路」の重要な節点に位置し、中国 – ヨーロッパ定期列車の始発点であり、日本と韓国（韓国まで 235 海里、日本まで 529 海里）とは海を隔てて向かい合っているため、国内から日本や韓国への航路がもつとも集中し、海上輸送コストが最も低い税関特別管理区である。東区は、南は鉄道駅からわずか 1 キロメートル、北は瀋海高速道路と煙台一大連フェリーに隣接し、西は煙台市の生活エリアに隣接し、東は煙台港とスムーズに繋がっており、荷卸される貨物は、園区に直行可能である。西区は山東省自由貿易実験区の煙台区に位置し、蓬萊国際空港に隣接している。園区は「海、陸、空、鉄道」で結ばれており、優れた立地に恵まれている。



園区計画管理総面積 6.18 平方キロメートル
• 東区 3.92 平方キロメートル
• 西区 2.26 平方キロメートル





発展現状



烟台総合保税区は、設立以来、特別政策の特別機能を十分に発揮し、改革開放の新しい使命を担い、烟台、ひいては山東省の日本、韓国、国際市場向けの重要な窓口とプラットフォームとして仕上げられている。園区は、「七通一平」のインフラが整い、6つの通関プラットフォームが税関の認可を受け、順次使用開始されている。

烟台港とフォックスコン工業団地を基盤に、保税物流、保税加工、越境電子商取引、テスト・メンテナンスを主な事業形態とする発展パターンが形成している。全区の対外貿易の輸出入は安定的かつ継続的に伸びており、全国と全省の税関特別管理区でも先頭を走っている。

発展優位性

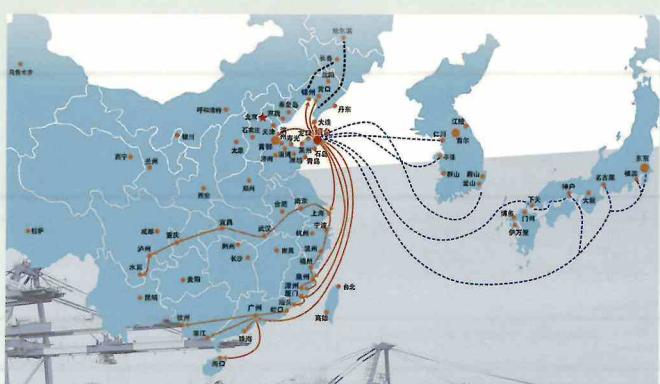
(1) 物流中枢の優位性

烟台総合保税区は、海港、空港、鉄道、道路物流が一体化された園区である



海上輸送: 烟台港と密接し、荷卸しされる貨物は園区に直行可能で、日本、韓国への航路が集中しており、海上輸送コストが最も低い税関特別管理区として、船から荷卸しされる貨物は10分以内に入区可能である。中国 – 韓国間で週12便6航路が運航し、韓国の仁川と平沢を結ぶ中韓航路は「夕方立って、翌朝着く」。

中国 – 日本間で週7便7航路、東南アジア線で週2便3航路、ロシア線で2週間に1便で1航路、中国 – アフリカ間で一般貨物定期便を月平均10便運航している。





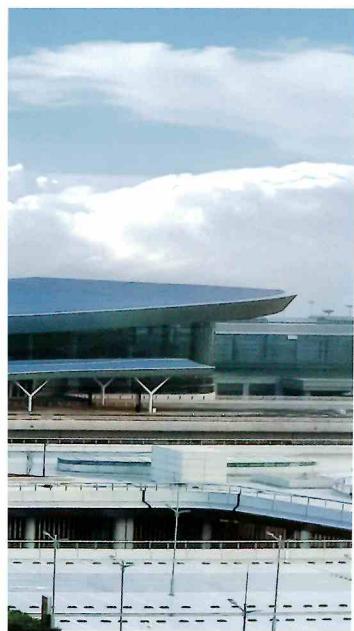
年間旅客処理能力延べ 1,000 万人

貨物取扱量 75,000 トン

烟 YANTAI 台



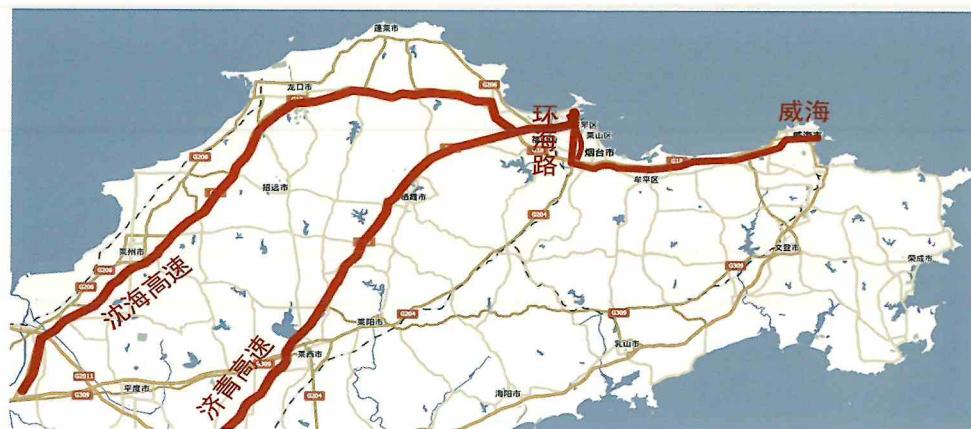
空輸: 煙台総合保税区から蓬萊国際空港までは車で 30 分程の距離である。煙台空港は國家一級の開放港で、国内外 70 以上の都市と直行便で繋がり、エアラインの数は国内トップクラスである。年間旅客処理能力は延べ 1,000 万人、貨物処理能力は 7 万 5,000 トンに達している。



鉄道: 煙台総合保税区は煙台駅から1キロ離れ、青島と威海は「1時間」ワーク圏内にあり、濰煙高速鉄道が完成すると、濟南まで2時間、北京まで3時間で到着可能。中国とヨーロッパを結ぶ列車「中欧班列」の「齐鲁号」の貨物始発点が総合保税区内にあり、煙台からドイツ・デュイスブルク、ロシア、中央アジア5カ国、東南アジア、ベラルーシ間の定期列車が相次いで開通。



道路: 煙台総合保税区は煙台一大連カーフェリーターミナルを経由して中国東北部の道路網と繋がっている。市街地を貫く幹線道路 – 環海路は、東は高速道路で威海と、南は濟青と、西は瀋海高速道路を経由して、全国各地と繋がっている。





(2) 優遇政策

税関監督管理政策：

·**保税**：海外からの輸入品に対する関税、增值税、消費税が一定期間免除される。

·**税還付**：総合保税区に入る国内製品は輸出品として扱われ、税還付の対象となり、総合保税区内で生産に使用される水、電気、ガスは税還付も対象となる

·**免税**：総合保税区内の企業が生産し、区内で販売する製品、または区外に出荷する製品は、增值税と消費税が免除される。園区内の企業間の貨物取引には增值税や消費税は課税しないこととなっている。生産に必要な機械設備、インフラ資材、およびゾーン内で個人的に使用する合理的な量の事務用品の輸入は、関税および課徴金が免除される。

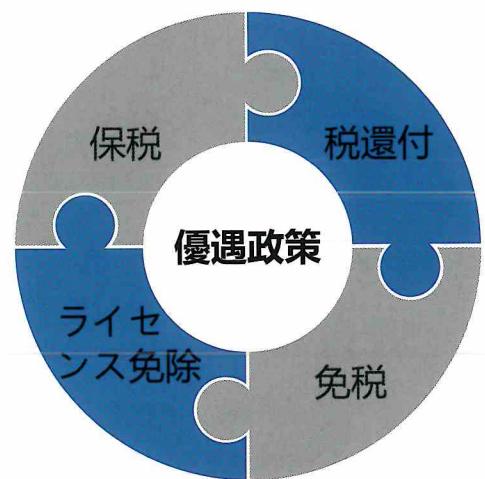
·**国内販売の選択的課税**：区内の企業が生産・加工し、「二線」を経由して国内で販売される商品には、それに対する輸入材料に応じた関税、または企業申請による実際の検査状態に応じた関税が課され、輸入に関する增值税および消費税は規則に従って課税される。

·**ライセンス免除**：総合保税区では輸出入割当制とライセンス管理を行わないこととなっている。区内の貨物は自由に流通し、保管期限も設定されていない。

·**便利な通関**：総合保税区における通関管理は、備案制に基づき、集中通關、ロット単位で保税区の出入りが行われ、区と港の間の「一申告、一審査、一検査」が可能となり、まさに「区と港が一体」となるシームレスなドッキングが実現されている。

園区の支援政策：

烟台総合保税区は、山東省自由貿易試験区烟台地区、山東省グリーン・低炭素・高品質発展模範区などの国家マクロ戦略と重なり、プラットフォーム建設、多額貿易、越境電子商取引、海外市場開拓、産業革新、新業態発展、人材導入などの分野において、都市・区レベルでの優遇策が豊富である。



(3) 機能的優位性

輸入銅精鉱混合: 2020年6月に税関総署から認可される。成分の異なる様々な銅精鉱は、国内の輸入条件に合わせて正確に混合され、企業のコストを効果的に削減し、国内原料の使用効率を向上させている。混合鉱管理倉庫敷地面積は28,000平方メートル、それを支える倉庫外堆積場は10,000平方メートルで、年間生産能力は60万トンである。



混合鉱管理倉庫敷地面積 2.8 平方メートル
付属倉庫外堆積場 1 万平方メートル
生産能力年間 60 万トン

輸入食肉、チルド水産物、食用水生動物: 税関総署により2020年10月に認可される。23,000トンの冷蔵倉庫と、3,200平方メートルのタラバガニ、ズワイガニ、ズワイガニの一時飼育プールがあり、同時に150トンの輸入活ガニを収容できる。



冷蔵倉庫容量 2.3 万トン
タラバガニ、ズワイガニ、ズワイガニの一時飼育プール 3200 平方メートル
輸入ガニ同時収容可能 150 トン



越境電子商取引の輸出入: 2020年11月、青島税関から総合保税区越境電子商取引監督管理センターの設立が承認され、面積は8400平方メートルあり、現在山東省で情報化技術レベルが最も高く、立地条件が最も優れ、税関のサポートが最も強力な税関監督管理センターとして、現在に至るまで越境電子商取引の保税輸入(1210)、小売輸出(9610)と日韓向けの国境を超える返品業務を9610件行っている。

果物輸入: 2022年12月に税関総署により認可される。敷地面積は7400平方メートル、倉庫面積は2200平方メートル。倉庫内の低温処理庫の温度は-4°C~0°C、検査場の温度は12°C以下にコントロールされており、総容量800トン、1日100トン以上の処理能力を誇っている。

穀物輸入: 2014年10月に旧国家品質検査総局により承認される。煙台港は全国で初めて穀物輸入港として指定された港湾、且つ穀物輸入指定港資格を取得した山東省の3つの港の1つでもあり、完備な穀物運営システムが確立され、埠頭運営、船舶代理、税関検査申告、物流などの「ワンストップ」サービスを顧客に提供している。



越境電子商取引監督管理センタ



輸入果物指定監督管理場





サービス環境

煙台総合保税区には税関、市場監督管理、税務、銀行などの監督サービス部門があり、管理委員会に下には経済貿易発展、計画建設、投資促進、金融、企業サービスなどの機能機構が設置されており、区内企業に国際化された質の高いサービス、専門化された精密なサービス、きめ細かなサービスを提供している。

(1) 心を込めたサービス。プロジェクト分析システムを確立し、区内企業が提起した各種の問題や要求をめぐって、企業、税関、銀行、国有企业プラットフォームなどのサービス部門を招集し、共に議論し、心を込めて企業のためにソリューションを策定している。

(2) 統合したサービス。区内の税関により 24 時間予約通関が実現でき、税務部門の輸出税還付にかかる時間は 8 時間以内に短縮され、管理委員会の「企業サービス委員」は区内プロジェクトのために「マンツーマン」のきめ細かいサービスを提供している。

(3) ユニークなサービス。煙台保税開発投資公司は、国有資産プラットフォームを活用し、企業の為に保税輸入商品融資や国際調達などの国境を越えたサプライチェーンファイナンスを提供している。また、煙台銀行、東営銀行、日照銀行などの金融機関と緊密な協力関係を構築し、企業に年利約 6% の融資業務を提供し、区内の重点産業と新興産業のアップグレードとイテレーションを支援している。



今後の協力の方向性

煙台総合保税区は、園区・港湾・産業・都市の一体化発展に拘り、差別化された突破を実現し、「一区四中心一プラットフォーム」の構築に取り組み、先端製造業のための重要な工業港を重点的に建設し、より競争力があり、より革新的な現代的国際化経済機能区の建設に努める。







一区四中心—プラットフォーム

園区・港湾・産業・都市の総合発展模

範区：機能集中による優位性を生かし、総合保税区、海港、空港の機能の有機的な融合を促進し、互いにパワーを与え合い、産業の配置と相互融合を最適化し、積極的に煙台市のグリーン、低炭素、高品質の発展に溶け込み、園区・港湾・産業の融合発展模範区を作り上げる。



グローバル鉱産物保税混合センタ

一：江銅国興の保税「銅混合」業務を基礎として、銅精鉱混合公共サービスプラットフォームの着地を促進し、グローバル鉱産物情報センター、貿易センター、金融センターの建設し、保税によるパワー付与、厳格な監督、スマートな管理を通じて、原鉱の「グローバル勾配」、混合鉱の「グローバル販売」を実現する。



日韓消費財流通センター：郵便、速達郵便、越境電子商取引などのためのマルチモード通関キャリアを構築し、海港と空港を利用して10万平方メートルの中央倉庫を配置し、中・日・韓の消費財の展示・貿易センターと消費財の流通センターを設置することで、烟台を日韓向けの消費財物流中枢・流通センターに作り上げ、「日韓の製品は烟台に入り、中国の製品は烟台から出る」という図式を完成させる。



農水産物国際貿易センター：税関総署が認可した輸入食肉、冷蔵食品、生鮮食品、果物税関指定の監督区域を活用し、貨物代理店、通関サービス、保税倉庫、保税加工、再輸出貿易、物流・流通、港湾運営、ライブ電子商取引を統合した、輸入コールドチェーンの「ワンストップ」サービス工業団地を建設する；また、烟台保税区が開拓した輸入バルクワインの保税加工という新モデルを基に、保税区内外の企業を結びつけ、8,000トンのワイン瓶詰め・貯蔵能力をもつて区内外の企業と連動し、ワインの保税加工規模を拡大する。





越境電子商取引貨物集約センター：韓国 ATOMY 輸入「1210」ビジネスセンター倉庫、中速輸出集約倉庫が着地し、越境電子商取引通関監督センター、省初の越境輸出返品試験モデル政策を頼りに、「海・鉄道・空・陸」物流ネットワーク運営の優位性をフルに発揮し、最も完備した機能、最もスピーディーで、最も便利な通關、最も低い物流コストで日本や韓国への越境電子商取引サービス生態系を創造する。

国際貿易総合サービスプラットフォーム：園区内の既存ビルを利用し、第三者サービス機関を誘致し、「衆創孵化空間」とデジタルプラットフォームを構築し、国際貿易、现代物流、科学技術、人材、知的財産権、金融、会計監査、法律顧問、品質インフラなど、企業のために発展キャリアとデジタル化サポートを提供し、産業生態サービスシステムを構築する。



四大製造業重要産業港



医薬衛生と未来食品: 煙台市の生命医薬産業の戦略的新興産業クラスターを頼りに、総合保税区の保税研究開発機能の政策的優位性を十分に發揮し、生物医薬分野の先端技術、医療機器、医療美容、薬膳健康食品などの保税研究開発を支援し、医薬衛生と未来食品産業港を建設する。



自動車部品と組立製造業: 「山東港商品自動車物流基地港」、「中国北方商品自動車物流中枢港」と煙台市の豊富な自動車・部品メーカーの優位性を利用して、自動車部品の産業チェーンの幅と長さを引き伸ばし、海上救命設備の製造を促進し、製造、物流、流通の全体的な産業能力をアップグレードする。





電子情報: 消費用電子機器、主要電子部品、精密機器、メーターなどの産業の発展に焦点を当て、既存の産業基盤を活用し、スマートフォン、コンピュータ、ウェアラブルデバイス、スマート家電、産業用ロボットなどのスマート端末、スマートロボット関連の分野の産業集合を積極的に拡大し、輸出企業のために政策的機能、海外進出効率、および良好な発展環境の面で支援を行う。



低空経済: 低空経済の戦略的新興産業をめぐって、軽ヘリコプターとドローンの研究開発、メンテナンス、デバッグ及び関連部品・設備の生産を行う。海外の部品需要と海外市場の開拓に焦点を当て、大型ドローンの研究開発と製造、および市場開拓のために様々なサービスを提供する。



开放的烟台综合保税区欢迎您！

開放的な煙台総合保税区によこそ！

烟台综合保税区招商局

联系电话：0535-6877609

煙台総合保税区企業誘致局

電話番号：0535-6877609